日刊工業新聞

| 年月日 | 26 | 05 | 25 | ページ | 01 | NO. | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

# 信金連携枠組み発足

## 全国初 地域超え製造業支援

信用金庫が地域を超えて、顧客である中小製造業の事業拡大を後押しする全国初のネットワーク「ものづくりネットワークShin-JAPAN」が25日、正式に発足する。西武信用金庫（東京都中野区）が検討してきた連携の枠組みに、アイオー信用金庫（群馬県伊勢崎市）、湘南信用金庫（神奈川県横須賀市）など関東地方の5信金が参画を決めた。同日、都内で連携協定を締結する。

桐生信用金庫（群馬県桐生市）、しののめ信用金庫（群馬県富岡市）、飯能信用金庫（埼玉県飯能市）もこのネットワークに加わる。今回参加する信金は、いずれも自動車産業をはじめとする製造業の集積地を地盤とし、取引先に部品や半導体関連、機械などモノづくり企業を多く抱える。地域金融機関ならではの顧客との緊密な関係を広域化し、地域を超えた企業との協業や大手企業からの受注獲得などを実現して〝本業支援〟につなげる狙いがある。

企業間マッチングなどの実務は西武トレーディングTOKYO（東京都中野区）が担う。同社は信用金庫による出資規制の緩和に伴い、2025年に設立された地域商社だ。

西武信金の高橋一朗理事長は、金融機関の経営や顧客支援の戦略を「人口減少社会に対応したものに転換する」と強調。その上で、他者との「連携・協調は不可欠」と訴える。加えて「デジタル技術の進展によって遠方の企業とも日常的につながりやすくなり、地理的な制約が克服されつつある」とも語る。こうした変化を追い風に、さらなる広域化に意欲を示す。

▲中小製造業の事業拡大を後押しする（イメージ）

2026年5月26日　3面

# 地域超え製造業支援

## 西武など6信金、連携協定

西武信用金庫（東京都中野区）など関東地方の6信用金庫は25日、中小製造業の事業拡大を地域を超えて後押しする全国初の枠組みで連携協定を結んだ。「ものづくりネットワークShin-JAPAN」として協業検討に着手する。第1弾として参画するのはほかに、アイオー信用金庫（群馬県伊勢崎市）、桐生信用金庫（同桐生市）、しののめ信用金庫（同富岡市）、湘南信用金庫（神奈川県横須賀市）、飯能信用金庫（埼玉県飯能市）。いずれも自動車をはじめ製造業の集積地を地盤とする。信金の営業地域は地理的な制約があるが、西武信金が持つ地域商社の機能を活用し、取引先の事業支援を広域化。新たなサプライチェーン（供給網）との接点を見いだす。

6月から各信金の取引先から50社程度を想定し、参加企業を募集。7月以降、企業間マッチングを始める。

6信金の理事長らが一堂に会し、連携協定を結んだ

無断転載・複写禁止ⓒ㈱日刊工業新聞社